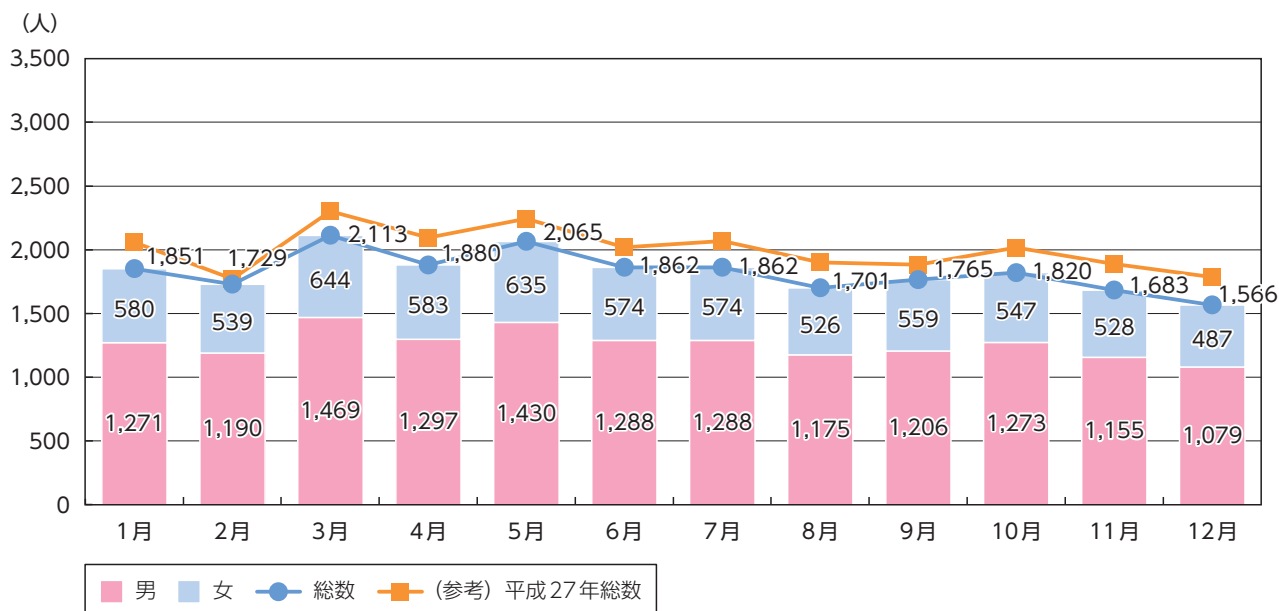


6 平成28年の自殺の状況

○男女別の月別の自殺者数の推移をみると、男性も女性も「3月」に自殺者数が最も多くなっている。また、男性も女性も「12月」に自殺者数が最も少なくなっている。

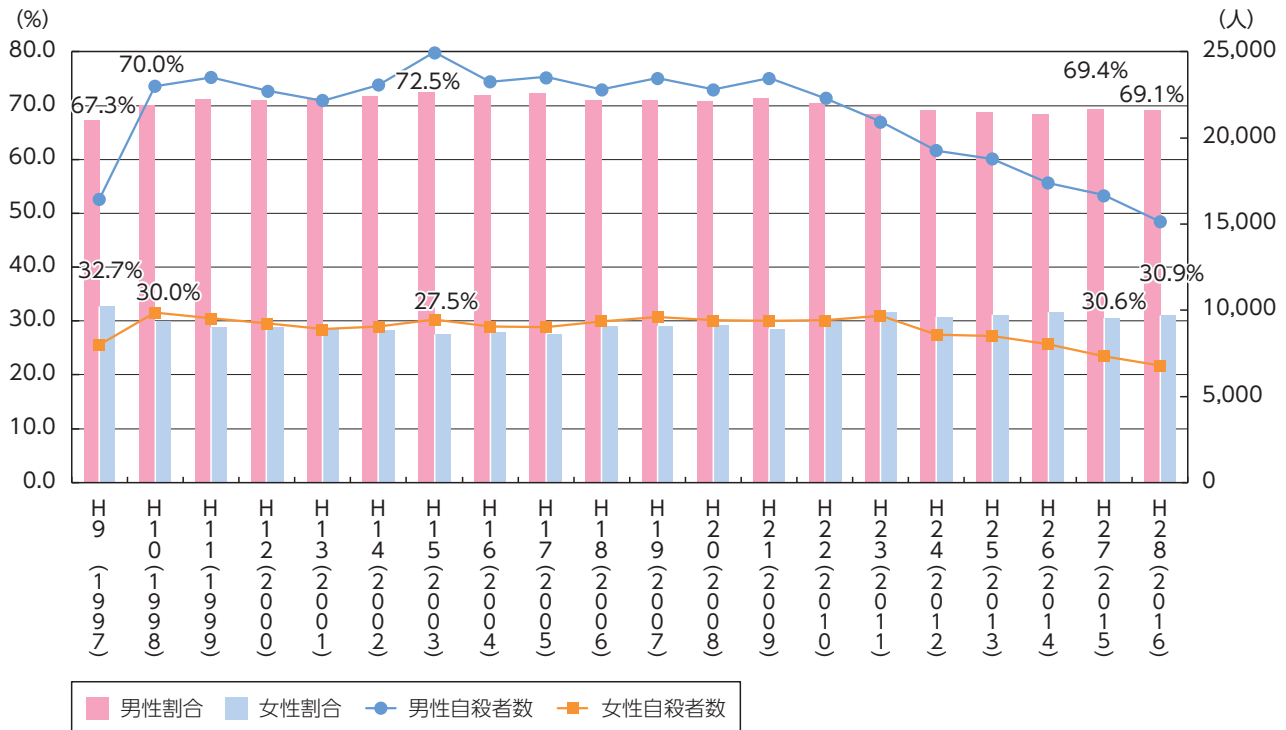
第1-18図 平成28年における死亡月別の自殺者数



資料：警察庁「自殺統計」より厚生労働省自殺対策推進室作成

○男女別の自殺者の状況を見ると、自殺者全体の男女別構成比は男性が69.1%となっており、男性がほぼ7割を占めている。

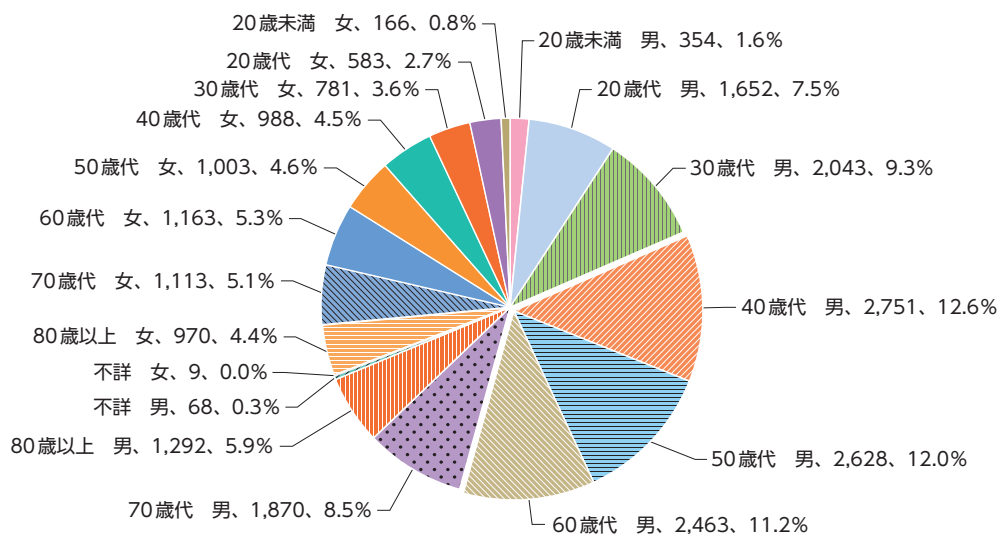
第1-20図 自殺者の男女別構成比の推移



資料：警察庁「自殺統計」より厚生労働省自殺対策推進室作成

○年齢階級別の自殺者数をみると、40歳代が最も多いが、さらに、男女別でみると、40歳代から60歳代の男性で全体の約4割近くを占めている。

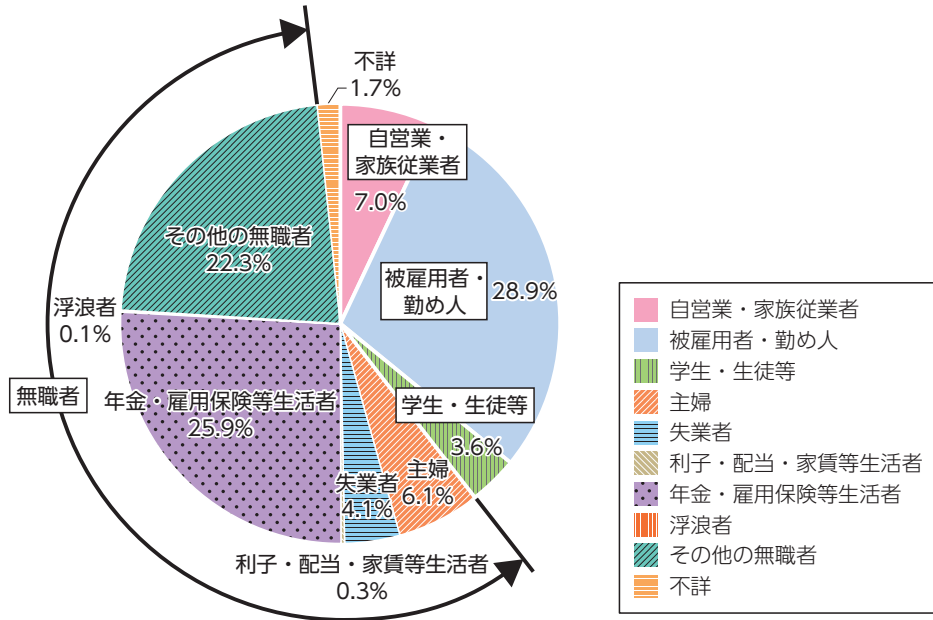
第1-22図 平成28年における男女別の年齢階級別の自殺者数の構成割合



資料：警察庁「自殺統計」より厚生労働省自殺対策推進室作成

○職業別の自殺の状況を見ると、「無職者」が最も多い。「無職者」の内訳をみると、「年金・雇用保険等生活者」が最も多く、次いで「その他の無職者」、「主婦」、「失業者」の順となっている。

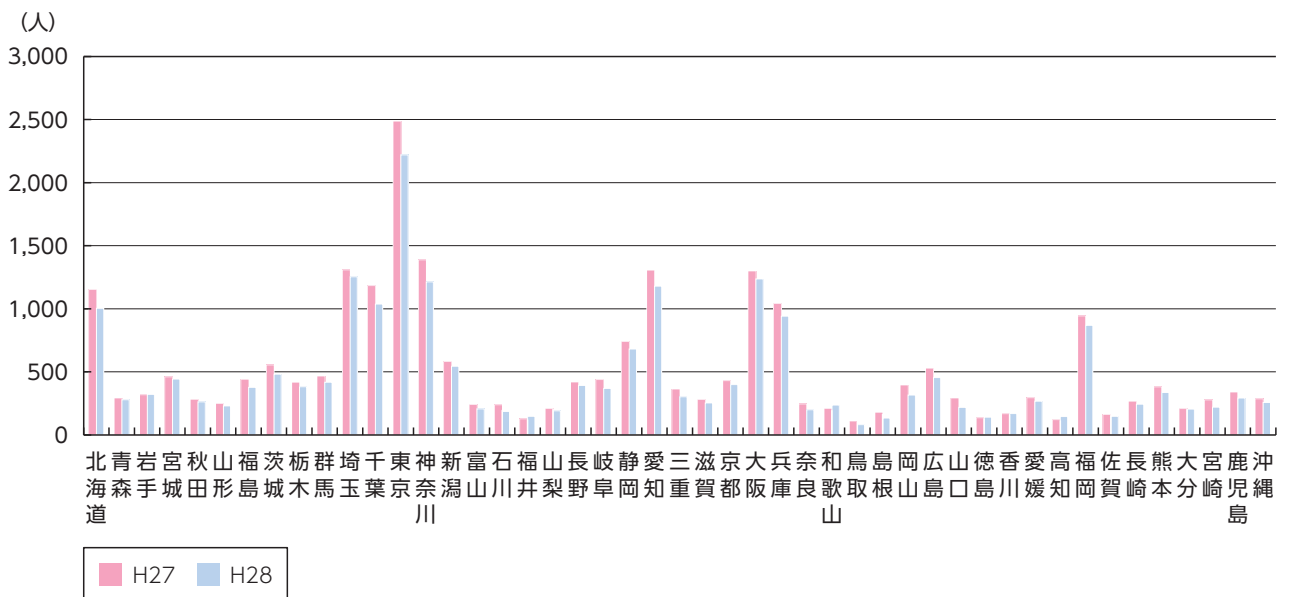
第1-23図 平成28年における職業別自殺者数の構成割合



資料：警察庁「自殺統計」より厚生労働省自殺対策推進室作成

○都道府県別の自殺の状況を見ると、自殺者数については前年に比べ、40都道府県で減少、7県で増加となっている。

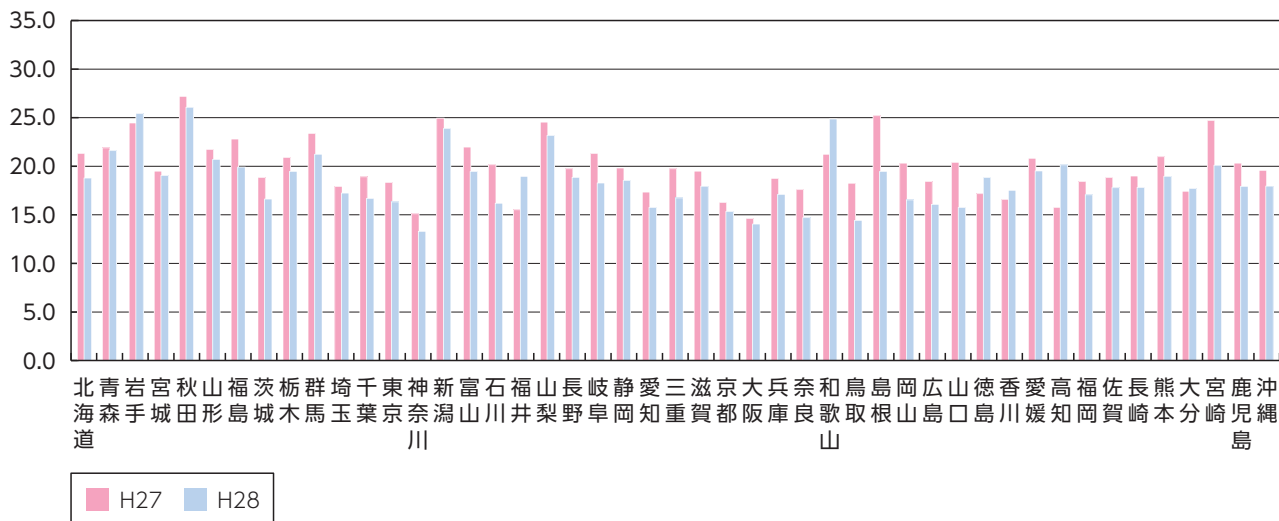
第1-27図 都道府県別の自殺者数



資料：警察庁「自殺統計」より厚生労働省自殺対策推進室作成

○また、自殺死亡率についてみると、前年に比べ、38都道府県で低下、9府県で上昇となっている。

第1-28図 都道府県別の自殺死亡率



資料：警察庁「自殺統計」、総務省「平成27年国勢調査人口等基本集計」及び総務省「人口推計」より厚生労働省自殺対策推進室作成